

SSVC+だより

SSVC+ : School Support Volunteer Coordinator Plus



令和7年11月

NO. 16

発行: 始良市教育委員会社会教育課

(始良市地域学校協働活動本部)

E-mail: shakyo@city.aira.lg.jp

SSVC+の合言葉「できることを、できるひとが、できるときに 子どもの笑顔が報酬代わり」

始良市では、地域と学校がタッグを組んで青少年育成・地域づくりを進める「SSVC+」事業を各地域で開催しています。コミュニティ協議会と学校から推薦された地域学校協働活動推進員が、コーディネーターとして学校と地域をつなぎ、各学校・地域で積極的に活動しています。今回は、帖佐中、山田中ブロックの取組を紹介します。

					
統括コーディネーター (帖佐中校区)	コーディネーター				家庭教育サポーター
下園 昌三	帖佐小校区 福迫 薩美	建昌小校区 村田 研史	松原なぎさ小校区 福丸 英徳	三船小校区 片野坂 寿人	帖佐中校区 土屋 トシ子

帖佐小校区

帖佐小校区は、「帖佐八幡神社浜下り」や「帖佐十九日馬踊り」などの歴史ある行事が残る地域です。地域の皆様の協力により、子どもたちの安全と健全な育成のために様々な取組が行われています。11月に行われた「帖佐八幡神社浜下り」では、鎌倉時代に京都石清水八幡宮の社家平山了清が帖佐郷に下向し新正八幡宮を創建したこと、第17代藩主島津義弘が関ヶ原合戦から帖佐に帰国できた御礼として、帖佐八幡から御門神社まで約140名が鎧兜や陣羽織に身を包み、巡行しました。

(文責: 川口博史教頭)



建昌小校区

立冬を迎えても日中は真夏日の気温を記録するほどで、季節の移り変わりに首をかしげたくなる中、春に続き、秋の「2年生生活科まちたんけん」の補助に出かけました。交差点では、しっかり手を上げて左右の安全を確認し、学習先の商店や郵便局、交番、幼稚園を訪問しました。予め準備した質問等を担当者に伝え、きちっと学習成果を上げることができたようです。保護者の見守りも多数でスムーズな学習ができました。(文責: 村田研史C)



松原なぎさ小校区

第3学年の学習「地域の方々となかよくなろう」において、単発ではなく「昔の体験講話」を第1回目に、「昔の遊び体験活動」を第2回目に、「戦争体験講話」を第3回目と計画して複数回交流を行いました。地域の方との交流では、けん玉やお手玉、めんこ遊びなど経験することのない遊びに最初は苦戦しながらも、コツを教してもらい、「やったあ。できた。」とうれしそうに技を披露していました。楽しく交流したことで、地域の方から聞く戦争体験講話も真剣に聞くことができ、子どもの深い学びにつなげることができました。

(文責: 本田康幸教頭)



三船小校区

今年度も三船小校区では、コーディネーターやコミュニティ協議会をはじめとした地域の皆様から、登校下校時の見守り活動や田植え、芋の苗植え、稲刈り、芋ほり等の農業体験学習、3年生の塩づくり体験学習、4年生の地域の用水学習等、6年生の「春花太鼓踊り」体験等、様々な活動で子どもたちの学びや成長を支えていただいています。子どもたちも年3回の校区スポーツ大会や一大行事の秋祭り、鬼火焚き等の地域行事にも積極的に参加したり、全校で通学路の清掃活動を行ったりして地域への貢献も進めています。今後もこのような活動をとおして、さらなる郷土愛を育ててほしいと思います。(文責: 小倉真教頭)



帖佐中校区

学校教育目標である「自立した生徒の育成」を達成するために、本校ではSSVC+の積極的な活用をはじめとして、保護者や地域の教育力を活用した教育活動を進めています。今年度、1年生は総合的な学習の時間において地域の伝統文化を学ぶことができましたが、その成果を文化祭において春花地区太鼓踊り保存会の皆様からの指導のもと「太鼓踊り」を、うんべの会の皆様の指導のもと「松原塩田」を題材とした舞台発表を行いました。また、始良市歴史民族資料館の皆様からの指導のもと「帖佐人形」について学び、実際に制作した作品を展示しました。



このように地域の方々から直接教わる学習は貴重なものとなっています。今後も「地域丸ごとの教育活動」を展開するため、本市の「SSVC+」事業の活用を一層進めたいと思います。
(文責：佐藤勲教頭)

				<p>子育てに関する悩みを保護者同士で気軽に語り合う「子育てサロン」を家庭教育学級で実施しています。</p> <p>家庭教育サポーターは、子育ての先輩として、悩みに共感したり、アドバイスをしたり、子育て世代に寄り添う役割を担っています。</p> 
統括コーディネーター (山田中校区)	コーディネーター		家庭教育サポーター	
川田 博史	山田小校区 下靄 満伸	北山小校区 山元 英美	山田中校区 重久 京子	

山田小校区

山田校区では、1月に校区鬼火焚きを実施。五穀豊穡と健康を祈願して子どもたちが、前日、縦5m、横3mの鬼の面に楽しく色塗りをします。毎年、鬼の表情は変わり、当日、子どもたちが鬼の面をみこしのように担いで会場に運びます。



10月25日に旧山田橋を偲んで、協議会準備の灯籠本体に小学生が思い思いの願い事の絵を描き、橋の両端に飾りライトアップ。絵が鮮やかに浮かび上がりました。

11月6日は学校主催「昔の遊び」。地域の方の指導を受け、小学1・2年生が挑戦。今はスマホやゲーム機による遊びが主流。昔の遊びに時間も忘れて一生懸命挑戦。会場には、できたあーと喜ぶ声。今後も学校と地域との協働を図り、地域と一緒に子どもたちのよき成長を進めていきたいです。(文責：下靄満伸C)

北山小校区

「子どもたちの笑い声が地域の元気の源！」高齢化が進む北山ですが、たくさん子どもたちが特認を希望して集ってくれるおかげで、地域がにぎわう場面がたくさんあります。子どもたちは、体験活動を通して北山のよさを味わったり地域の方々との交流を深めたりしています。



例年実施している「ふれあい交流」では、地域の方々と一緒にグランドゴルフで勝負をしたり、竹とんぼ作り、めんこやお手玉を一緒に楽しんだりすることができました。たくさん笑い声があふれ、すてきな時間になりました。これからも、子どもたちの笑顔のために活動を進めていきます。(文責：山元英美C)

山田中校区

※ 令和7年10月21日 かごしまCS・地域学校協働活動研修会 始良・伊佐会場 事例発表校

山田中学校では、31年連続で実施している、田植えから稲刈りまでの作業を生徒たちが手作業で行う「農業体験学習」を今年度も実施しました。また、山田を代表する伝統行事の「かかし祭り」に向けて、かかし3体を制作し、本祭の会場準備への協力、本祭当日のボランティア等、地域貢献に取り組んでいます。

12月には地域で大切にしている凱旋門の清掃活動、1月には「鬼火焚き」にも参加することとしており、地域と学校とのつながりや伝統を絶やさず、積極的な教育活動の取組を今後も推進してまいります。(文責：野村伸吾教頭)



教えて！くすみん

コミュニティ・スクールの導入と地域学校協働活動

コミュニティ・スクール導入の意義は何ですか？

その2

① 地域と一体となった子どもたちを育む体制の構築

地域の子どもたちをどのように育てていくのか、みんなで考えることのできる場になる。

② 地域と学校のパートナーシップを構築

地域とともにある学校づくりを進めていくため、地域が「当事者」として学校運営に参画する。

③ 学校運営と地域連携の強化

「コミュニティ・スクールを行うこと」が目的ではなく、「どういう状態を目指すのか」を考える。

